

書名	御朱印でめぐる関西の神社			著者名	地球の歩き方編集室／編		
出版社	ダイヤモンド社	ISBN	978-4-478-82112-1	本体価格	¥1,300	発売	2017/11/13
内容	開運神社で御朱印を集めれば、運氣アップ間違いなし！「御朱印と御利益が凄い」と評判の関西の神社を徹底取材。巻頭では、京都や奈良などの人気観光地のモデルルートを集めた。また総合運、恋愛運、金運、健康運など御利益別に最強神社の御朱印を紹介。神様プロフィールや御朱印Q&Aなど、ビギナー向けコンテンツ満載						

書名	奈良町あやかし万葉茶房			著者名	遠藤 遼／著		
出版社	双葉社	ISBN	978-4-575-52053-8	本体価格	¥611	発売	2017/10/17
内容	生まれつきあやかしの見える高校生・草壁彰良は、父親の死をきっかけに奈良に住む親戚の額田真奈歌に引き取られることになった。彰良は真奈歌の営む喫茶店「万葉茶房」で働き始めるが、そこはあやかしたちの憩いの場でもあった。彰良は趣味で万葉集の歌をそらんじれるのだが、あやかしたちにはこの歌が大好評。歌を聞きに来る常連客も出るほどで——奈良の喫茶店を舞台に、あやかしと人間たちの交流を描いたハートフルストーリー。						

書名	やまと尼寺 精進日記			著者名	NHK「やまと尼寺 精進日記」制作班		
出版社	NHK出版	ISBN	978-4-14-081727-8	本体価格	¥1,600	発売	2017/12/21
内容	2016年から放送中の「やまと尼寺 精進日記」の書籍化。奈良・桜井の奥深い山寺に暮らす2人の尼僧とお手伝いの女性の食を中心にした暮らしや日々の営みを、寺の中に入り込んで取材を続けるディレクターの目を通して描き出す。						

書名	古代天皇家と『日本書紀』1300年の秘密			著者名	仲島 岳／著		
出版社	WAVE出版	ISBN	978-4-86621-090-2	本体価格	¥2,500	発売	2017/11/9
内容	『日本書紀』に隠された謎を歴史ミステリーを紐解くような手法で大胆で斬新な仮説を読者に提示！世界文化遺産への推薦決定で脚光を浴びる百舌鳥・古市古墳群。その代表的なものは大仙陵古墳(伝仁徳天皇陵)と菅田山古墳(伝応神天皇陵)であろう。しかし、この二つとも被葬者は実は特定されていない。では、本当は誰が葬られているのだろうか。著者は言う。その謎を解くカギは、『日本書紀』にある、と。だが720年に成立した日本書紀は、天皇家の本当の系譜を巧妙なやり方で隠ぺいし、現代にいたるまで1300年もの間、その秘密を人々の目から隠し続けてきたのだ。						

書名	絵物語 古事記			著者名	富安 陽子／文 山村 浩二／絵 三浦 佑之／監修			
出版社	偕成社	ISBN	978-4-03-744870-7	本体価格	¥1,600	発売	2017/11/20	
内容	『古事記』の上巻におさめられた神話が、富安陽子さんの息のかよった文章で生き生きとよみがえりました。全ページ、山村浩二さんによる挿し絵入りで、迫力のあるイメージが広がります。子どもから大人まで、初めて読む『古事記』の決定版です。							

書名	古事記と日本書紀どうして違うのか			著者名	武光 誠／著			
出版社	河出書房新社	ISBN	978-4-309-49980-2	本体価格	¥680	発売	2017/11/20	
内容	天武天皇の主導で8世紀に完成した『古事記』と『日本書紀』。同じ国史の書なのに収録されている出来事が違っていたり、同じ事件でもストーリーが違っていたりするのなぜか。世界観の違いの謎を解く！							

書名	運慶のまなざし 宗教彫刻のかたちと霊性			著者名	金子 啓明／著			
出版社	岩波書店	ISBN	978-4-00-022237-2	本体価格	¥2,000	発売	2017/11/7	
内容	彫像の視線と、僧侶でもあった宗教者運慶の視点。二つの「まなざし」から、運慶とその作品の本質に迫る。							

書名	「死の国」熊野と巡礼の道			著者名	関 裕二／著			
出版社	新潮社	ISBN	978-4-10-136481-0	本体価格	¥520	発売	2017/11/1	
内容	熊野に迂回してヤマト入りを図った神武天皇、応神天皇。なぜ彼らは「死の国」熊野を目指したのか。熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社の熊野三山、荘厳な名瀑・那智の滝、聖なる巡礼の道・熊野古道、巨大な磐座がご神体の神倉神社、国生みの神イザナミの御陵・花窟神社…。紀伊半島の「死と再生」の聖地を巡り、ヤマト建国の謎を解き明かす、古代史紀行シリーズ、書下ろしで登場。							